フクシマの子どもの未来を守る家 ニュース No. 34

11月

14/11/16 発行

☆今 月 の 活 動 報 告☆

＊ 秋晴れの下 柿もぎ＆芋煮会 ＊

谷定ハウスの畑の柿が色付き、収穫の時を迎え、鶴岡市に長期避難している 2 家族と「守る家」サポーターで、10 月 26 日（日）秋晴れの下、柿もぎをしました。

「柿もぎは初めて」という参加者も多かったですが、子ども達 3 人参加、お父さん、お母さんとハサミを使って干し柿にもできるよう、枝付で切りました。

柿もぎ終了後、避難家族 3 家族（子ども達 6 人）サポーター6 人で、芋煮会。

お父さんと子ども達は外で遊び、お母さん達とサポーターで芋煮の準備。5 年生の I ちゃんも包丁で野菜を切り、お手伝いをいっぱいしてくれました。

暖かな庭で、参加者全員で美味しい芋煮を食べました。「庄内風の芋煮は初めて！」という家族もいらっしゃいました。芋煮会は、福島の芋煮と山形の芋煮の違いについて、また長期に渡る原発事故からの避難生活の悩みの交流や励ましあい、情報交換の場ともなりました。谷定地域の方からリンゴや梨などの差し入れもありました。

食後も暖かな戸外でゆったり遊び、のんびり、楽しいひと時を過ごしました。

もいだ柿は、お世話になっている方々に食べていただいたり、「守る家」で干し柿にしたりして冬に来るフクシマの親子に食べていただきたいと思います！

＊ 今後の予定 ＊

○11 月 29 日（土）：13 時半～講演会「いのちと放射能」@勤労者会館

「命にとって放射能がどのような影響を与えるのか」皆さんと共に学びましょう。

また福島で子どもを放射能から守るために頑張って来られたお母さんのお話もお聞きします。

※託児ルームあり。夜は講師を囲んで懇親会をします（会費制）。参加希望の方は、高橋までご連絡ください。

○12 月 28 日（日）：餅つき交流会@井岡ハウス（鶴岡市井岡字和田 336-8）

※年末の慌ただしい時期ではありますが、サポーターの皆さまはぜひご参加ください☆

お問い合わせ先：080-6023-7490（守る家事務局）

いのちと放射能

講演会

DNAは親から子へ受けつがれます

2014 11/29土 13:30~16:30

スリーマイル島、チェルノブイリ、福島で
原発事故が起き、私たちは放射能と向き合わざるを得ない日常を送ることになりました。
60兆個の細胞からできている私たちのからだ。細胞ひとつひとつに、親から子へ受けつがれる"情報テープ"が入っています。そんな私たちのからだが放射能を浴びたり、体内に取りいれてしまうとどうなるのか、お話を聞いてみませんか。
また、「原発より危険」といわれる青森県の六ヶ所(再)処理工場についても、一緒に学んでみませんか。福島で子どもたちを守るために活動しているお母さん、山形に避難している高校生もお話ししてくださいます。

鶴岡市勤労者会館
鶴岡市泉町8-57

一般500円 学生200円
託児ルームあり 要事前申し込み

講師 永田文夫さん
岩手県在住，元高校教師
「三陸の海を放射能から守る岩手の会」世話人

分科会講師 佐藤幸子さん・美菜さん
福島県在住
福島診療所設立呼びかけ人

山形県小国町在住
幸子さんの二女，高校生

主催／大震災原発問題学習会実行委員会
庄内医療生活協同組合
共立社鶴岡生協
庄内地域づくりと子育て・文化協同の会
フクシマの子どもの未来を守る家
山形大学農学部学生ボランティアプロジェクト「走れ！わあの子ヤリ」

後援／荘内日報社 山形新聞・山形放送

私も本講演会に賛同します

池田聡子	鶴岡市在住，歯科医
小松馨	酒田市在住，「農的暮らし研究所」主宰
佐藤暎子	鶴岡市在住，「庄内自然育児の会」発起人 ナチュラル&オーガニックショップ「天知舎」代表
佐藤恵子	鶴岡市在住，(株)出羽の四季 勤務
坪沼雪人	遊佐町在住，県内避難者
矢澤俊彦	日本キリスト教団荘内教会牧師 荘内教会保育園 園長

問い合わせ 託児申し込み
長南厚・090-5356-8981 高橋裕子・080-6023-7490